

たくさんのご支援ありがとうございます！



4月20日にレストラン KURA. の笠間拓朗オーナー（写真左）が、同22日に株式会社アズールの波多吉衛工場長（写真右）が町教育委員会を訪れ、西会津小学校・中学校の児童生徒用に布製マスクを寄贈しました。

レストラン KURA. では、来店者からの善意の募金も合わせてマスクを購入し寄贈しました。株式会社アズールでは、自社で製造したマスクを児童生徒へ贈りました。



レストラン KURA. より



(株)アズールより



大竹副町長に次亜塩素酸水を手渡す高橋社長

4月22日、株式会社会津技研の高橋淳社長より、次亜塩素酸水約360ℓの寄附を受けました。

この次亜塩素酸水は、町役場をはじめとする公共施設や、各学校、町内の福祉施設などに配付され、主に消毒液として新型コロナウイルスの感染拡大防止に役立てられます。



薄町長に不織布マスクを手渡す佐藤さん

4月26日、エスオーインターナショナル株式会社の代表取締役を務める佐藤悟さんが、町役場を訪れ、不織布マスク4200枚の寄附を受けました。

群馬・白坂出身の佐藤さんは、「西会津応援大使」も務めており、町の宣伝や観光の活性化にも多くの支援をいただいています。



薄町長に除菌消臭剤を手渡す伊藤社長

5月12日、有限会社伊藤電機の伊藤眞一社長が町役場を訪れ、除菌消臭剤100本の寄附を受けました。いただいた除菌消臭剤は、今後、町内の公共施設などへ配付する予定です。

数多くの支援、誠にありがとうございます。町内の感染防止と感染拡大防止のため有効に活用させていただきます。

新型コロナに負けない！

世界的に流行が拡大している新型コロナウイルス感染症について、国内では4月7日に7都府県に緊急事態宣言が発令され、同16日には、全都道府県に対して緊急事態宣言が発令されました。これにより、各地でのイベントの中止・延期や外出自粛、特別定額給付金の支給など、感染拡大防止に向けた対策が進められています。

県においては、1月29日に「福島県新型コロナウイルス感染症対策本部」が設置され、各種対策や情報発信に取り組んでいます。

町においては、2月28日に「西会津町新型コロナウイルス感染症対策本部」が設置され、新型コロナウイルス感染症に関する情報収集と町民の皆さんへの情報提供を行い、感染予防および感染の拡大防止を図っています。

今月号では、新型コロナウイルス感染症にかかる町の取り組みや、町に寄せられたさまざまな支援、お知らせについてまとめました。（記事の内容は、全て5月12日時点のものです）

ケーブルテレビやオンラインを活用した学習支援



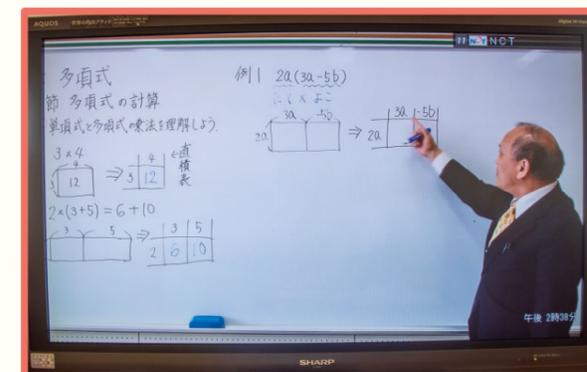
4月23日（木）から臨時休校となった西会津小学校では、4～6年生の児童に貸与しているタブレット端末を使い、オンライン授業を実施しました。また、5・6年生の児童はZoomソフトを活用し、担任の先生や児童同士が顔を見ながら、出欠確認や、授業などを行いました。さらに、ケーブルテレビで放送される「西小タイム」を児童が視聴するなど、在宅での学習に取り組んでいます。



同じく西会津中学校では、専用の学習サイトを用いて、学習支援を実施しました。生徒はサイト内で出欠確認をし、先生とチャットでやり取りをして学習を行いました。また、ケーブルテレビの「西中タイム」を視聴し、各教科の先生の授業や運動に取り組んでいます。



西小でのオンライン授業の様子（上、中）
ケーブルテレビで放送された学活の様子（下）



西中タイム（放送時の様子）



新型コロナウイルスをかたった詐欺が 発生中！

現在、新型コロナウイルスに関連し、給付金の支給やマスク・消毒液の配布など、全国各地でさまざまな対策が行われています。これらの対策に便乗したなりすまし詐欺には十分注意してください。県外では、給付金の手続きを装って現金をだまし取られた事例が発生しています。さらに、個人情報やキャッシュカード、口座番号を聞き出そうとされたなどの相談も寄せられています。

- ◎「マスクを送付します」
- ◎「給付金の手続きのため銀行口座の登録が必要です」
- ◎「給付金を振り込むのでATMに行ってください」

などといった電話には十分ご注意ください。

警察官や金融機関職員、自治体職員からキャッシュカードに関しての電話や、給付金の手料金を要求することはありません。また、電話やメールで給付金に関する個人情報をお聞きすることはありませんので、十分ご注意ください。

<問い合わせ・相談先> 消費者庁相談窓口 ☎188 (いやや！)
喜多方警察署 ☎0241-22-5111



感染拡大防止のための3つのお願い

① 3つの密を避けましょう

換気の悪い密閉空間、多数が集まる密集場所、間近で会話や発声をする密接場面、日常生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。

② 咳エチケットを徹底しましょう

飛沫による感染を防ぐため、くしゃみや咳をするときは、マスク・ティッシュ・ハンカチ・袖などで口や鼻を覆いましょう。

③ こまめに手洗いをしましょう

外出先からの帰宅時や調理の前後、食事の前など、こまめな手洗いを心掛けましょう。

感染を予防するための3つの取組み

1 クラスタ発生リスクが高い 日常生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。

3つの密を避けましょう!
新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。

①換気の悪い密閉空間 ②多数が集まる密集場所 ③間近で会話や発声をする密接場面

※3つの条件のほか、共同で使う物品には消毒などを行ってください。

2 咳エチケット ほかの人にうつさないために くしゃみや咳が出る時は、飛沫にウイルスを含んでいるかもしれません。次のような咳エチケットを心がけましょう。

・マスクを着用します。
・ティッシュなどで鼻と口を覆います。
・とっさの時は袖や上着の内側で覆います。
・周囲の人からなるべく離れます。

正しいマスクの着用
①鼻と口の両方を確実に覆う ②ゴムひもを耳に掛ける ③隙間がないよう鼻まで覆う

3つの咳エチケット 電車や職場、学校などが集まるところでやろう

マスクを着用する(口・鼻を覆う) マスクがいない時 袖で口・鼻を覆う 何もせずに咳やくしゃみをする 咳やくしゃみを手でおさえる

3 手洗い ドアノブや電車のつり革など様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに手を洗います。

正しい手の洗い方
①流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。 ②手の甲をのばすようにこすります。 ③指先・爪の間を念入りにこすります。 ④指の間を洗います。 ⑤親指と手のひらをねじり洗いします。 ⑥手背も忘れずに洗います。

石けんを洗い終わったら、十分に水で洗い、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

福島県新型コロナウイルス感染症対策本部より

町民への不織布マスクを配付 特別定額給付金の申請受付始まる



配付された不織布マスク

町役場では、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策の一環として、16歳以上(今年度中に16歳になる方を含む)の町民の皆さんを対象とし、1人あたり2枚の不織布マスクを4月24日より順次郵送にて配付しました。

また、政府の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策において、特別定額給付金事業が実施されることに伴い、町でも全町民を対象とし1人10万円の特別定額給付金を給付します。給付を受けるには、世帯主宛てに郵送された申請書類に記入し、必要書類を添付した上で申請が必要です。

特別定額給付金の申請については、町役場町民税務課窓口で受け付けているほか、郵送やオンラインでの申請も可能ですので、いずれかの方法で申請を行ってください。なお、申請期限は8月11日となっています。

<特別定額給付金に関する問い合わせ先>

町民税務課 ☎45-2212 または 2215



感染拡大防止対策として、待合席の間を空けて臨時窓口(5月11日~17日)を設置。写真は野沢体育館

持続化給付金の受付開始について

「持続化給付金」とは、新型コロナウイルス感染症拡大により特に大きな影響を受けている個人事業主・フリーランス、中小企業、中堅企業者の皆さんの事業継続を支え、再起の糧としてもらうことを目的としたもので、事業全般に広く使える給付金です。

5月1日より申請受付が始まっています。電子申請が原則となっていますので、持続化給付金事務局のホームページをご確認ください。また、申請受付の開始にあわせて、申請要領などを公表しています。よくあるお問い合わせや解説動画も掲載されていますので事前にご確認ください。

さらに、持続化給付金専用のコールセンターで問い合わせを受け付けています。電話は大変混み合うことが予想されるため、経済産業省や

給付金事務局のホームページ、LINEアカウントなどもあわせて活用ください。

<問い合わせ・相談先>

西会津商工会 ☎45-3235

経済産業省ホームページ

<https://www.meti.go.jp/covid-19/jizokuka-kyufukin.html>

持続化給付金事務局ホームページ

<https://www.jizokuka-kyufu.jp/>

持続化給付金事業コールセンター

☎0120-115-570

LINE ID @kyufukin_line

LINE QR コード→

